

景 観 計 画 書
(浅草通りにおける建築物の建築等)

当該行為における景観形成に関する考え方	
記載欄	
(1) 配置	
<input type="checkbox"/>	浅草通り沿いにオープンスペースを積極的に配置するなどゆとりの演出を図るとともに、隣接する建築物の壁面の位置などに配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	敷地内やその周辺に歴史的・文化的な資源や保全すべき樹木等がある場合は、これらを活かした配置となるよう配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	駐車場、駐輪場や設備は、通りから見えない位置に配置する。やむを得ず、通りに面する場合などは、植栽や目隠しなどによって、目立たせないようにする。 記載欄
(2) 高さ・規模	
<input type="checkbox"/>	浅草通りから見える建築物は、周辺建築物群のスカイラインと調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。 記載欄
<input type="checkbox"/>	長大な壁面を避け、周辺への圧迫感の軽減に努める。 記載欄
<input type="checkbox"/>	浅草通りの主要な交差点からの見え方に配慮する。 記載欄
(3) 形態・意匠・色彩	
<input type="checkbox"/>	建築物の形態・意匠は建物全体のバランスだけでなく周辺建物等との調和を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/>	浅草通りに面する建築物の低層部は、商業・業務・文化施設をできるだけ設け賑わいの演出を図るように配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	浅草通りに面する建築物の低層部にある店舗等は、内外の活動が相互に見えるよう工夫するなど、可能なかぎり屋内外の一体性や連続性を持つよう配慮する。 記載欄

<input type="checkbox"/> 主要な交差点部に立地する建物はアイ・ストップとなるため、街角を意識した外観のデザインとなるよう配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/> 建築物に附帯する屋外設備や階段等は、高層階や上空からの視線に配慮するとともに、通りから見えない位置に配置する。やむを得ない場合は、建築物と一体的な意匠とするか、ルーバーや緑化などにより修景するなど、周囲から目立たない工夫を施すなど建築物本体や周辺との調和を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/> 建築物等の色彩や素材は、次の事項に適合するとともに周辺との調和を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・外壁の素材は、耐久性があるものを積極的に使用し、光沢があるものは控える。 ・地域で親しまれている色彩（別表参照）の活用に努める。 ・外観の色彩は、別表に定める基準に適合するものとする。 記載欄
<p>(4) 公開空地・外構・緑化等</p>
<input type="checkbox"/> 外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺のまち並みとの調和を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/> 浅草通り側に積極的に緑や花を植えることができる場所を設け緑化を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/> 高層階や上空からの視線に配慮し、できるだけ屋上緑化を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/> 浅草通りに沿って変化する景観を演出するアイ・ストップとなる樹木の配置を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/> 緑地や植栽等に照明を設置するなど、夜間でも適度な明るさを確保するよう努める。 記載欄
<input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場の出入り口は、できるだけ通りから見えないように植栽等で修景する。 記載欄

上記以外で特に景観に配慮した事項